

次号予告

2016年9月号

特集

日々の「快」をささえ、可能性を広げる 難病ケア

長期療養となることが多く、身体機能やADLの低下が起こる難病療養者。本特集では、難病療養者が日々の生活に「快」を感じ、自らの可能性や活動を広げること支援するためのポイントや実践を紹介し、難病療養者の生きる力を引き出すことができる難病ケアのあり方を探っていきます。また、2015年1月の「難病法」施行後の制度活用のポイントも示します。

在宅における難病ケアの現状と課題●中山優季

ここがポイント！ 難病ケアにおける制度活用
●原口道子

【コラム】

これからの難病ケアにおいて期待されること

●川村佐和子

日本難病学会認定「難病看護師」としての活動実践

●原田さおり

【実践報告】

神経難病療養者の「快」をささえるコミュニケーション

●前田あゆみ

難病療養者の「快」をささえ、生きる力を引き出す
支援●松木満里子

【療養者からのメッセージ】

絶対値ではない幸せは取り戻せる●嶋守恵之

【座談会】

これからの難病ケア

「一緒に居られる、一緒にできる」を導く新たな取り組み

●吉藤健太郎・岡部宏生・橋本操・中山優季[司会]

編集後記

今号の連載「終える命、つなぐ命」第17回のなかで國森康弘

さんが、ナチスによるホロコーストの心理メカニズムを知るために1961年にイエール大学で行なわれた心理実験を紹介し、「平時には奥底に潜んでいる心の弱さや権威への服従心、弱者への残虐性が、環境や立場によって前面にせり出してくる」と書いています。

療養者本人に向き合わず漫然と行われる医療やケアの根底にもこのような心の奥底にある弱さが垣間見られる気がします。その弱さを払拭するためには、立ち止まって考え、働きかけ続けることが大切であると、今特集は教えてくれていると思いました。…小林

住み慣れた環境での生活を支援するために考えるべきは、食事

と排泄の問題だ——。これはある訪問看護師さんの言。「食べる」「出す」は人にとって切り離せぬキーワードであり、支援においても欠かせぬ視点だという主旨でした。そんな排泄をテーマとしているのが本特集です。皆さんが試行錯誤し、支援を試みている途上にあるとわかります。漫然と行なわれるケア(ex.2〜3日排便がなければ即下剤)に疑問を呈す。そして利用者のことをもっと知ろうと働きかけ、よりよい手法があるのではないかと考える——。拝読して、実践者の姿勢に心打たれておりました。…小池

訪問看護と介護 第21巻 第8号(通巻242号) 2016年8月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2016, Printed in Japan

1部定価:本体1,400円+税 年間購読料(税抜,送料弊社負担,年間12冊):12,600円(冊子版)/

15,600円(冊子+電子版/個人)/12,600円(電子版/個人)

販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:小池・小林・早田

✉houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は,そのつど事前に出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は,株式会社医学書院の登録商標です。